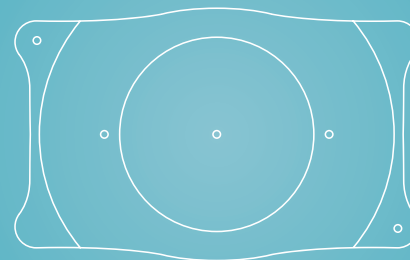


角膜を削らない
眼内コンタクトレンズ 視力矯正




Implantable Contact Lens (ICL)
Vision Correction



DiscoverICL.com

 STAARSURGICAL™

製作：スター・ジャパン 合同会社



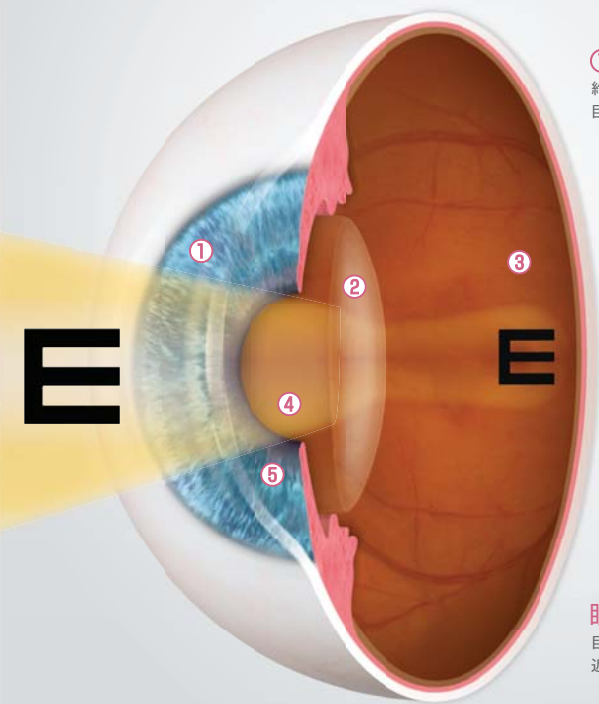
眼内コンタクトレンズ(ICL)矯正とは 目の中にレンズを入れる視力矯正です。

- シャープであざやかな見え方が期待されます
- 入院不要の手術で、翌日には快適な視力回復が期待されます
- ゴロつきや異物感もなく目にやさしい
- ドライアイの原因になりにくい
- 良好な夜間の見え方が期待されます
- ずっとお手入れ不要
- 万一の場合でも、レンズを取り出し元の状態に戻すことができます
- 紫外線をカットする機能もあります

Implantable Contact Lens (ICL)
Vision Correction

目のしくみと屈折矯正

目の中で光は角膜と水晶体の2つのレンズで屈折され焦点を調整して網膜に像を結びます。



① 角膜

約40D(ディオプター)の屈折力を持ち、目全体の2/3の屈折力を担います。

② 水晶体

目全体の約1/3の屈折力約20D(ディオプター)を持ち、屈折力を変化させピント調節の機能を担います。

③ 網膜

カメラのセンサーに相当します。映像を神経信号として脳に送ります。

④ 瞳孔

カメラの絞りに相当します。光量に応じて径を変化させ、網膜に投射する光量を調整します。

⑤ 虹彩

角膜と水晶体の間にある薄い膜のことです。瞳孔の大きさを調節して網膜に入る光の量を調節する役割を持ちます。

眼軸長

目全体の奥行き長さ(角膜から網膜まで)のことです。近視の人では長く、遠視の人では短くなる傾向があります。



通常の状態

角膜と水晶体によって網膜に焦点が合わせられ、鮮明な像が得られます。



近視

近視とは遠くがぼやける眼のことです。遠方から来た光は、網膜より手前に像を結びます。



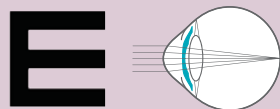
乱視

乱視とはどの距離でも歪んだ像が結ばれる眼のことです。光は単一の焦点に像を結びません。



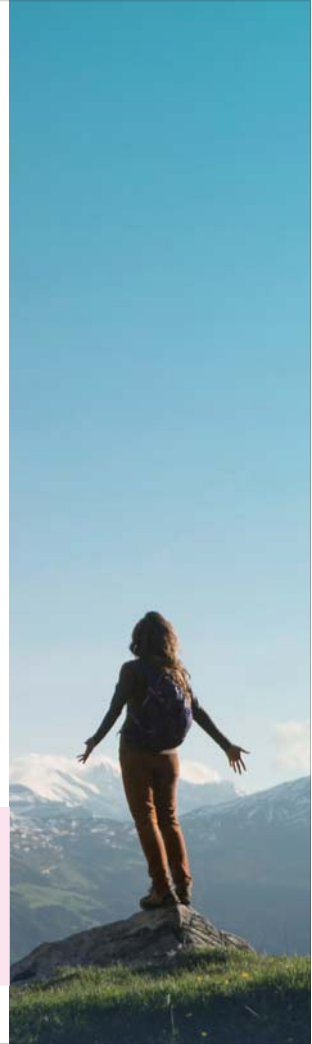
遠視

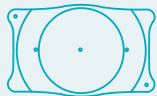
遠視とは近くがぼやける眼のことです。遠方から来た光は網膜より奥に像を結びます。



ICL埋植後

虹彩と水晶体の間に眼内コンタクトレンズ(ICL)を入れて近視や乱視を調整します。焦点が網膜上に正しく合わせられます。





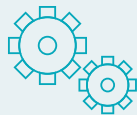
眼内コンタクトレンズ(ICL) 視力矯正とは

眼内コンタクトレンズ視力矯正は、角膜を削らずにレンズを目の中に入れて視力を矯正します。Implantable Contact Lensの略としてICLと呼んだり、フェイクIOL(有水晶体眼内レンズ)と呼ばれることもあります。レンズは虹彩の後ろ側と水晶体の前面の間に固定しますので外から見てもわかりません。



目に優しい素材

目の中に入れるレンズは、ソフトコンタクトレンズのような柔らかい無色透明の素材です。紫外線をカットする機能もあります。半永久的に使用可能です。



ずっとお手入れ不要 取り出すことも可能

目の中のレンズは、くもったり汚れたりしないので、日々のお手入れやメンテナンスは不要です。目の中でゴロつきを感じることもありません。万一、必要が生じた場合はレンズを取り出して元の状態に戻すことができます。



日帰り手術 回復も早い

眼内コンタクトレンズ視力矯正は、レンズを専用の器具で目の中に入れます。麻酔は目薬だけですから痛くはありません。また傷口が約3ミリと小さいので回復が早く、日帰りの手術が可能です。



角膜を削らない 大きな光学系

眼内コンタクトレンズ視力矯正なら、角膜を削らないので角膜の形がほとんど変化しません。また光学系が大きく確保できるため、夜間に問題となるハロー・グレアの抑制が期待されます。



万一の場合 元の状態に戻せます

度数が大きく変化したり、新しい視力矯正方法が選択できるようになった場合、レンズを完全に取り出すことができます。



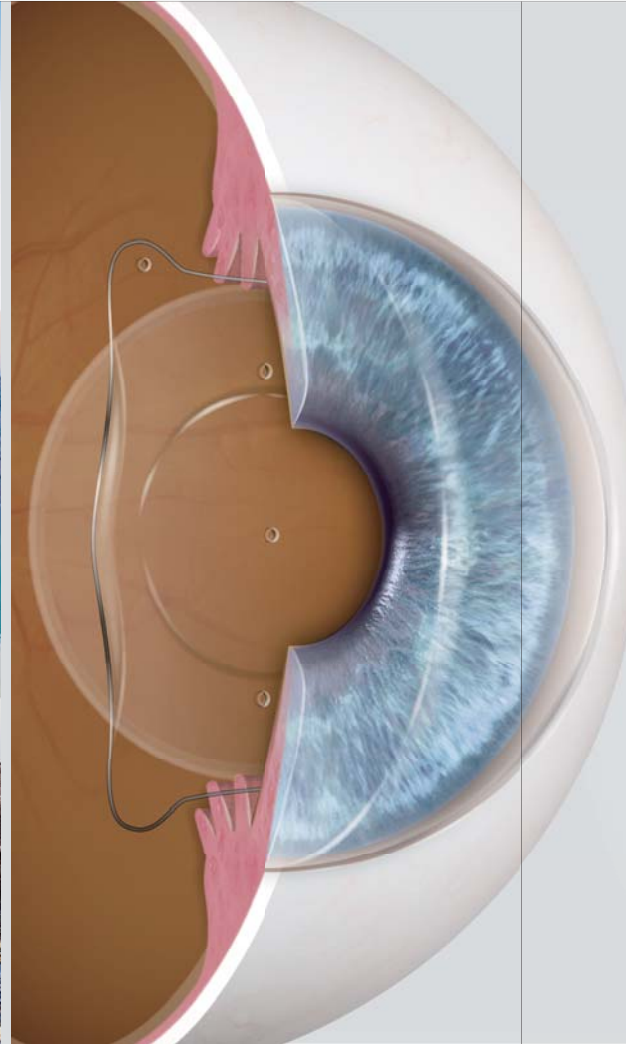
誰でも受けられますか?

他の目の病気(緑内障や白内障など)や全身疾患のない近視や乱視の方が対象になります。強度の近視や角膜の薄い場合も対象になります。ただし、目の形状や状態、他の疾患をお持ちの場合は、適応とならない場合があります。詳しくは医師にご相談下さい。



眼内コンタクトレンズ 視力矯正の歴史

1997年に欧州で導入されて以来、世界で累計100万眼以上に使用されています。国内では2003年から治療が始まり、2010年に医療機器として承認されています。



手術の概要



① 術前検査

ICL手術を決定する前に、定められた様々な検査を行います。



② 術前処置(手術)

点眼薬によって術前に瞳孔(ひとみ)を広げ、目を麻酔します。



③ ICLの挿入

点眼麻酔の後、角膜の縁を約3mm切開し、ICLを眼内を挿入します。



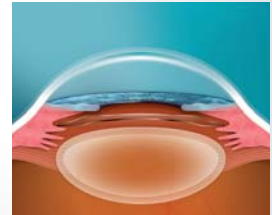
④ ICLの位置の整復

ICLの虹彩(茶目)と水晶体の間に設置します。



⑤ 最終ステップ

瞳孔を収縮させ手術は終了です。院内でしばらくお休み頂いた後、目の状態を検査し、問題がなければ帰宅できます。



⑥ 術後の定期検査

定められた手順にしたがって、炎症を抑えたり、感染症を防ぐための点眼薬が処方されます。術後は医師から指示されたスケジュールで来院し、検査を受けて頂きます。

手術後の主な症状

見え方について

- 視力の変動 …… 術後1週間ほどは炎症などで視力が変動することがあります。
- ハロー・グレア …… 夜間は暗い中で光を見た時に、眩しさを感じる場合があります。
- 光の輪 …… 症状の度合いや期間には個人差がありますが、治療後数ヶ月で自然と気にならなくなることが一般的です。

一般的な症状（帰宅～翌日）

- 違和感・充血 …… 傷口が治癒し炎症が治まることで、時間とともに自然に改善します。
- かすみ

手術後の注意事項

手術後の一定期間は、日常生活において以下の項目について制限があります。詳しくは医師の指示に従って下さい。

- 洗髪・洗顔
- シャワー・入浴
- 化粧・アイメイク
- 飲酒・たばこ
- 運転
- 運動
- プール

Q&A

Q.手術を受ける制限はありますか？

目の形や病気、全身疾患などによって対象とならない場合があります。事前に詳しい検査を行い、目の形、状態、生活習慣などを総合的に検討して適応かどうかを専門の医師が診断を致します。正確な検査のためにコンタクトレンズ(特にハードレンズ)は一定の期間装用を中止して頂く必要があります。妊娠中・授乳中は、視力が不安定になることがあり手術はできません。

Q.手術は痛いですか？

目薬タイプの点眼麻酔をしますので痛みはほとんどありません。

Q.レンズを入れていることは他人に気が付かれますか？

虹彩の後ろに挿入するので、外からは見えません。

Q.費用は公的医療保険の対象ですか？

公的医療保険の対象ではありません。

Q.老眼も治りますか？

40歳頃から加齢に伴う調節力の衰えにより「手元が見えにくい」と言った老眼の症状が始めます。老眼はピントを合わせる能力が衰える症状です。眼内コンタクトレンズ視力矯正では近視や乱視など屈折の矯正を行います。老眼の治療ではありません。老眼により手元が見にくい場合は近用眼鏡(老眼鏡)等を適宜使用して下さい。